

## はじめに

空欄補充問題、いわゆる「穴埋め」問題は、センター試験、私大入試から難関国公立大の二次試験に至るまで、ほとんどの大学の入試で出題されています。しかしながら、多くの受験生は、この「基本中の基本」で十分得点できていないのです。

例えば、最近数年間の河合塾の「全統記述模試」を分析した結果では、生物用語問題の平均正答率は、高3生では約50%、高卒生でも約70%しかありませんでした。さらに個別に生物用語を調べると、その結果は様々で、平均正答率が90%以上の用語がある一方で、正答率が10%に満たない用語もあることがわかりました。

生物用語の意味を理解し、それを正確に記憶することは、ただ教科書を読めばできるというものではありません。空欄補充問題を解きながら、本当にその用語を十分理解しているのか、チェックしていく必要があるのです。また、空欄補充問題を解くことは、空欄補充問題の対策としてばかりでなく、論述問題の解答文を書くためにも不可欠です。

近年の生物の入試問題では、最先端の研究成果がすぐに出題されています。2008年にオワンクラゲのGFP(緑色蛍光タンパク質)の研究がノーベル賞を受賞すると、翌年からGFPを用いた実験問題が急増し、2006年にiPS細胞の作製が発表されると、その2年後には出題されているといった具合です(iPS細胞は2012年にノーベル賞を受賞)。



「生物基礎」・「生物」の教科書では、扱われている分野も内容も新しく、かつ詳しくなり、生物用語も増加しています。教科書の索引をみると、「生物基礎」では400~700語、「生物」では900~1000語が掲載され、これらの合計は「生物Ⅰ」・「生物Ⅱ」で扱われていた用語数のほぼ1.3倍にもなっています。

このような状況のなかで、私たちは、生物用語の徹底的な学習を目的とした本書の作成を思い立ちました。実際の入試問題のなかには、教科書には記載されていない特殊な用語も含まれており、本書では、空欄を補充しながらこれに対応するための新しい知識を習得できるようにしました。

本書が皆さんの『生物用語の完全制覇』に役立つものと確信しています。

## 本書の特徴と使い方

### データ編

- (1) データ編は4回分の演習問題がそれぞれ100語の小問で構成されています。各小問について、解答とともに河合塾の塾生(高卒生)の正答率のデータが示されています。
- (2) 平均正答率が低い小問は、 60%以下、 40%以下のように示しています。また、各回について得点分布を示しました。自分の現在の力を相対的に知ることができると思います。
- (3) 演習問題(1)と(2)、演習問題(3)と(4)はそれぞれよく似たテーマの問題です。問題編で演習を行う前に(1)と(3)にトライして現在の力を確認したうえで、演習終了後に(2)と(4)にトライしてみる、といったような使い方をすることもできます。

### 問題編

- (1) 大学入試問題から生物用語の問題213題を厳選しました。問題文に新課程で新しく取り上げられた用語を小問として加えたために、問題文の一部を改訂しているものもあります。
- (2) 「生物基礎」の範囲の問題は(\*)で示し、「生物」の範囲の問題は無印として区別しました。
- (3) 問題は難易度によって2レベルに分け、基本問題を(A)、応用問題を(B)で示しました。問題では、頻出用語から、入試に出題された受験生がほとんど答えられない特殊な用語まで扱っています。また、特別なテーマの問題は、トピック問題として第11章にまとめました。
- (4) 問題の中には選択肢を与えた問題もあります。用語や数値を問う問題は数字( ~ )で、選択肢を与えた問題はアルファベット( ~ )で示しました。
- (5) 問題の文章は、新しい知識を得るうえでも、論述問題の解答文を書くうえでも、大いに参考になると思います。空欄を埋めただけで満足せず、問題文を読み返して生物の総合力を高めてください。

## 〈目次〉

### データ編

|                                  |   |
|----------------------------------|---|
| 演習問題, 解答,<br>得点分布と小問別正答率 (1)~(4) | 8 |
|----------------------------------|---|

### 問題編

|              |     |
|--------------|-----|
| 第1章 細胞・生体物質  | 34  |
| 第2章 代謝       | 48  |
| 第3章 遺伝子      | 60  |
| 第4章 生殖・発生    | 72  |
| 第5章 遺伝       | 82  |
| 第6章 動物の体内環境  | 90  |
| 第7章 動物の反応と行動 | 106 |
| 第8章 植物と環境    | 114 |
| 第9章 生態と環境    | 118 |
| 第10章 進化・系統分類 | 134 |
| 第11章 トピックス   | 144 |